

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】平成23年1月27日(2011.1.27)

【公開番号】特開2009-136425(P2009-136425A)
【公開日】平成21年6月25日(2009.6.25)
【年通号数】公開・登録公報2009-025
【出願番号】特願2007-314443(P2007-314443)
【国際特許分類】

A 6 1 B 6/08 (2006.01)

A 6 1 B 6/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/08 3 0 9 A

A 6 1 B 6/00 3 0 0 G

【手続補正書】

【提出日】平成22年12月3日(2010.12.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

X線を被検体に照射するX線源と、前記X線源から照射されるX線の照射領域を制限する羽根を有して成るX線可動絞りと、前記X線源と対向配置された前記被検体の透過X線を検出するX線平面検出器と、を備えたX線画像診断装置において、

前記X線平面検出器のX線入射面と反対側にX線可動絞り範囲設定手段が配置され、前記X線可動絞り範囲設定手段及び前記X線可動絞りと有線もしくは無線にて通信を行い、各種制御を行なう制御装置が備えられ、前記X線可動絞り範囲設定手段は少なくとも操作者に触られた場所の2次元の位置情報を得、この位置情報を元に前記X線可動絞りの羽根の位置を制御して、適切なX線照射領域を設定することを特徴とするX線画像診断装置。

【請求項2】

請求項1において、前記X線源から照射されるX線の広がりと、前記X線画像診断装置及び前記被検体の幾何学的配置と、に基づいて、前記X線可動絞りの羽根の位置を補正する補正手段を備えたことを特徴とする

【請求項3】

請求項1もしくは請求項2において、前記位置情報を表示する表示手段を備えたことを特徴とするX線画像診断装置。